

平成13年度

# 福岡アジア美術館年報

Fukuoka Asian Art Museum Annual Report 2001

平成13年度

# 福岡アジア美術館年報

Fukuoka Asian Art Museum Annual Report 2001

## 目次

|          |    |
|----------|----|
| <hr/>    |    |
| 展示事業     |    |
| 特別企画展    | 05 |
| 小企画展     | 09 |
| コレクション展  | 12 |
| <hr/>    |    |
| 交流事業     |    |
| 招聘事業     | 14 |
| ボランティア事業 | 17 |
| その他      | 19 |
| 新所蔵作品    | 22 |
| 入館者数     | 26 |
| 活動記録     | 28 |
| <hr/>    |    |
| 概要       |    |
| 基本理念     | 30 |
| 活動内容     | 31 |
| 施設概要     | 32 |
| 沿革       | 36 |
| 名簿       | 38 |
| <hr/>    |    |



展示事業

展示事業 特別企画展

タンカの世界—チベット仏教美術展



会 期 2001年5月12日(土)~7月1日(日)  
 会 場 企画ギャラリー  
 主 催 福岡アジア美術館、西日本新聞社、ハンビツ文化財団  
 後 援 (財)福岡市文化芸術振興財団、NHK福岡放送局  
 協 賛 日産化学工業、ニチメン、西遊旅行  
 協 力 アシアナ航空  
 開 催 日 数 44日  
 観 覧 者 数 13,288人  
 出 品 点 数 92点

韓国ハンビツ文化財団所有のチベット仏教美術コレクションは、その総点数が900点を超え、世界最大級といっても過言ではない。とくに「タンカ」Thangkaと呼ばれる軸装の仏画に関しては、他の追随をゆるさない圧倒的な量を誇っている。

財団は、1996年から収蔵品の整理とカタログの編集を開始し、すでに図録「Art of Thangka」第一巻、第二巻と、その日本語版「チベット仏教絵画集成」(臨川書店)が刊行された。

また1999年には、ソウル市内に財団が運営するファジョン(和庭)博物館がオープンし、その開館記念として、「チベットの美術」展が開催された。

今回の展覧会は、この開館記念展をもとに、さらにその内容を充実させたものである。その基本コンセプトは、900点を超える収蔵品の中から、時代、地域、作品ジャンルのバランスを考慮しつつ厳選された92点の作品によって、チベット美術の全貌が、今回の展示で一望できることを目指したところにある。

関 連 事 業 ガラリートーク 5月12日  
 講師:田中公明(本展監修者)  
 ポ ス タ ー B2 デザイン マツダヒロチカデザイン事務所  
 チ ラ シ A4 デザイン マツダヒロチカデザイン事務所

関連記事

- 2001年4月26日 西日本新聞(夕)、「タンカの世界 チベット仏教美術展 来月12日から 福岡アジア美術館」、P.7
- 2001年5月10日 読売新聞、「軸装絵画・仏像など90点紹介 チベット仏教美術展〜タンカの世界」、P.33
- 2001年5月12日 西日本新聞、「韓国の実業家福岡市長訪問 美術展に所蔵品貸与 きょう開幕」
- 2001年5月12日 西日本新聞(夕)、「漂う神秘と奥深さ チベット仏教美術展開幕 アジア美術館」
- 2001年6月19日 西日本新聞(夕)、田中公明「美と祈り チベット仏教美術展より(上) 『極楽浄土図』 優れた色彩の感覚」、P.8
- 2001年6月20日 西日本新聞(夕)、田中公明「美と祈り チベット仏教美術展より(中) 『釈迦説法図』 『釈迦如来像』 発展する仏教絵画」、P.8
- 2001年6月21日 西日本新聞(夕)、田中公明「美と祈り チベット仏教美術展より(下) 『チベット死者の書』 都会の喧噪離れ」、P.10
- 2001年6月27日 西日本新聞中尾智路「タンカに息づく仏教世界 チベット仏教美術展」

第2回福岡アジア美術トリエンナーレ2002



会 期 2002年3月21日(木・祝日)～6月23日(日)  
 会 場 全館および美術館周辺  
 主 催 第2回福岡トリエンナーレ実行委員会、福岡アジア美術館、西日本新聞社、NHK福岡放送局、(財)福岡市文化芸術振興財団  
 後 援 外務省、文化庁、参加各国駐日大使館、国際美術連盟日本国内委員会、(社)日本美術家連盟、テレビ西日本  
 助 成 国際交流基金、アジア文化カウンシル、(財)花王芸術・科学財団、東洋信託文化財団、福岡文化財団  
 協 賛 味の明太子ふくや、(株)NTTデータ、富士通(株)  
 催 日 数 10日(3月31日まで)  
 観 覧 者 数 2,042人(3月31日まで)  
 出 品 点 数 展示(絵画、彫刻、インスタレーション等の展示)  
 参加作家37人・組、展示作品122点  
 交流プログラム(招聘作家による市民との美術交流イベント)  
 出品作家のうち交流プログラム参加作家16組(17人)、交流作品16点

福岡トリエンナーレは、近年、国際的にも注目を集めるアジア現代美術の最新動向を紹介する大規模な国際美術展で、3年に1度開催される。これは、20年来継続的にアジア美術を紹介してきた福岡市美術館の活動と、同館で開催された「アジア美術展」の先駆的な業績を継承するもので、福岡アジア美術館の開館記念展として1999年に開催した「第1回福岡アジア美術トリエンナーレ1999」(略称:第1回福岡トリエンナーレ)は、「コミュニケーション:希望への回路」というテーマのもと、アジア美術の最前線をダイナミックに紹介し、内外から高い評価を受けた。

「第2回福岡アジア美術トリエンナーレ2002」(略称:第2回福岡トリエンナーレ)は第1回展の成果をふまえ、さらなる進展を期すために、アジア21の国・地域から有望な美術作家たちを厳選し、21世紀のアジア美術の方向を見定めようとしたものである。また、第1回展同様、多くの作家が福岡に滞在し、美術館の建物を越えて多彩な活動を展開することで、市民を巻き込んだライブでダイナミックな美術交流を繰り広げるべく活動した。

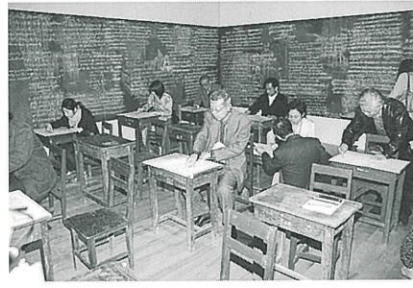
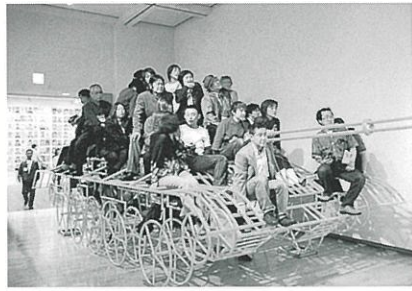
本展のテーマ「語る手 結ぶ手」は、経済先進国に主導された国際社会の中で見過ごされている、手作りの作品が人と人とを結びつける力やアジア特有のコラボレーション(共同作業)の在り方を再認識することで、21世紀の新たな価値基準を提案しようとするものである。

関 連 事 業  
 プレイイベント(あじびダンス・ホール) 2月1日  
 参加アーティスト: チョン・ヨンドゥ  
 ギャラリーツアー 3月21日  
 参加アーティスト: アディーラ・スルマン(パキスタン)  
 サティッシュ・シャルマ(インド)  
 アシュミナ・ランジット(ネパール)  
 ビナリー・サンビタック(タイ)  
 ヤウ・ビーリン(マレーシア)  
 チャン・ルーン(ベトナム)  
 リン・ティエンミャオ(林天苗/中国)  
 イン・シウジェン(尹秀珍/中国)  
 リ・ミンズ(李明則/台湾)  
 ボン・ホンジイ(彭弘智/台湾)  
 シンポジウム 3月21日  
 アジアにおけるアーティストとアーティスト・スペース:発展・相互作用・創造  
 バスツアー 3月30日  
 行き先:大分県中津江村  
 ポ ス タ ー B2 デザイン アートクエスト(福博総合印刷株)  
 図 録 A4変形 デザイン アートクエスト(福博総合印刷株)  
 チ ラ シ A3 4つ折り デザイン アートクエスト(福博総合印刷株)

関連記事

2001年12月26日 西日本新聞、「アジア美術の旬紹介 福岡トリエンナーレ2002、来年3月開幕 21カ国・地域の38人が150点出品」、P.22  
 2002年 1月 アジアカラブ、No.55、「アジアの現代アーティスト福岡トリエンナーレ編 1」  
 2002年 1月13日 毎日新聞、大隈健「福岡アジア美術展3月21日に開幕 『語る手 結ぶ手』テーマに 21カ国・地域参加」、P.20  
 2002年 2月 アジアカラブ、No.56、「アジアの現代アーティスト福岡トリエンナーレ編 2」  
 2002年 2月 8日 毎日新聞(夕)7「『ローテク』アジアの造形 来月から福岡トリエンナーレ」  
 2002年 2月18日 信濃毎日新聞、後小路雅弘「美のうねり アジア美術の旗手たち26 福岡トリエンナーレ① 欧米の枠組み問う」、P.12  
 2002年 2月25日 信濃毎日新聞、後小路雅弘「美のうねり アジア美術の旗手たち27 福岡トリエンナーレ② 陳少華と林天苗 実生活の中で創造」、P.14  
 2002年 2月28日 西日本新聞(夕)、「戦車はジャングルジム 『人智の研究ver.1...遊具』 牛嶋均さん(38)」  
 2002年 3月 エルフ、No.311、「さあ一緒にアートしません?福岡アジア美術トリエンナーレ2002」、p.17  
 2002年 3月 アジアカラブ、No.57、ししお「アジアの現代アーティスト福岡トリエンナーレ編 3 3チョン・ヨンドゥ」  
 2002年 3月 1日 読売新聞、「トリエンナーレ21日開幕 福岡」、P.34  
 2002年 3月 4日 信濃毎日新聞、後小路雅弘「美のうねり アジア美術の旗手たち28 福岡トリエンナーレ③ 韓国出身の若手作家 人生への共感作品に」、P.13  
 2002年 3月 8日 毎日新聞(夕)、「細胞分裂する戦車 牛嶋均個展 『人智の研究ver.1...遊具』」、P.7  
 2002年 3月11日 シティ情報ふくおか、No.561、土岐薫「これがアジアのアートパワーだった!福岡アジア美術トリエンナーレ」、pp.22-23  
 2002年 3月12日 西日本新聞、「(展覧会)牛嶋均個展 多義性帯びた遊具の形」  
 2002年 3月12日 週間チャイニーズドラゴン、No.348 「3年に1度『アジア現代美術の祭典』 第2回福岡トリエンナーレ」、p.8  
 2002年 3月16日 西日本新聞、「ローテク、リアル、手作り」に焦点 第2回福岡アジア美術トリエンナーレ 21日から福岡アジア美術館」、P.12  
 2002年 3月18日 信濃毎日新聞、後小路雅弘「美のうねり アジア美術の旗手たち29 福岡トリエンナーレ④ タイの作家たち 神秘的で瞑想的な場」、P.13  
 2002年 3月19日 読売新聞、水野哲也「アジア近現代美術福岡で力強く発信」、P.19  
 2002年 3月21日 西日本新聞「アジアの芸術家38人出品 『トリエンナーレ』開幕 福岡市」  
 2002年 3月21日 新美術新聞、No.955、「第2回福岡トリエンナーレ開幕 アジアの『いま』と出会う」、p.3  
 2002年 3月22日 西日本新聞、「『美術の場』論議 美術シンポ開く 福岡アジア美術館」、P.24  
 2002年 3月25日 信濃毎日新聞、後小路雅弘「美のうねり アジア美術の旗手たち30 福岡トリエンナーレ⑤ 南アジアの作家たち 女性であるがゆえ」  
 2002年 3月30日 朝日新聞(大阪版)、山盛英司「文化・社会的緊張が鮮明に ネパールの女性作家の2展」、P.11

第2回福岡アジア美術トリエンナーレ2002



展示事業 小企画展

「アート横断シリーズ」- I アジアINコミック展



会 期 2001年8月9日(木)~10月23日(火)  
 会 場 アジアギャラリーB  
 開 催 日 数 66日  
 観 覧 者 数 7,781人

近年のアジアにおける映像、アニメーション、漫画、ファッション、建築などの様々な現代特有のメディアにおける視覚表現や、そのような表現をジャンルを越えて利用した現代美術を紹介するシリーズ展。その第1回展として、東アジアでは今や映画とともに広く親しまれ、重要なジャンルとなった漫画19作品および関連資料134点を紹介。東アジアの4つの国・地域(中国・香港・韓国・日本)11人の作家たちによる新しい漫画の動向を「私たちはどこへ行くのか?」という共通のテーマで委託した作品によって紹介した。

ポ ス タ ー B2 デザイン ワーロック栗田卓哉  
 チ ラ シ A4 デザイン ワーロック栗田卓哉

関連記事

- 2001年 7月29日 日本経済新聞、「窓(コラム)アジアinコミック展について」
- 2001年 8月 3日 西日本新聞、「4カ国・地域の作家11人が伝える東アジアの漫画の『今』 アジアINコミック展 9日から福岡アジア美術館」
- 2001年 8月10日 毎日新聞(夕)、米本浩二「漫画が映す東アジア 福岡でコミック展」
- 2001年 8月18日 朝日新聞、「東アジアの漫画原画や作品紹介 福岡アジア美術館 130冊一部除き閲覧OK」、P.24
- 2001年 9月 4日 熊本日日新聞、「東アジアの若手漫画家作品紹介 福岡市でアジアINコミック展」、P.17
- 2001年 9月22日 朝日新聞(夕)、木方幹人「美術 東アジア漫画『体験』の場に 10月23日まで福岡アジ美で」

タウン・ダッチャニー せめぎあう光と闇



会 期 2001年8月9日(木)~9月25日(火)  
 会 場 アジアギャラリーA  
 開 催 日 数 42日  
 観 覧 者 数 5,368人

第12回福岡アジア文化賞芸術・文化賞受賞者であるタウン・ダッチャニー(タイ)の功績を讃えて開催した展覧会。1960年代の初期作品から近年までの大作10点によって同氏の画業をたどり、日本国内では初めての回顧展的性格の展覧会となった。躍動感あふれる力強い絵画世界は、タイ仏教をもとに独自の宗教観、鋭い人間観をもって作り上げたものであり国際的評価も高い。

関 連 事 業 アーティスト・トーク  
 9月14日 17:30~19:30  
 アジアギャラリーA  
 絵画制作パフォーマンス 9月15日  
 14:30~17:00

ポ ス タ ー B2  
 リーフレット 297×554ジャバラ

## 「現代アジアの作家シリーズ」-II スダルシャン・シェッティ展



会 期 2001年9月1日(土)~10月28日(日)  
 会 場 交流ギャラリー  
 開 催 日 数 51日  
 観 覧 者 数 3,673人

現代美術におけるアジアの実力作家を紹介する個展シリーズとして開催。その第2回展は、インド現代美術の新たな傾向を示すスダルシャン・シェッティの作品6点を紹介。椅子や机、ボート、弦楽器、飛行機などが機械仕掛けで動く、新作の立体作品で構成されたインスタレーション「ここで、それともどこかで(For Here or To Go)」は、どこまでも変転する新たな物語を紡ぎだそうとした。

関 連 事 業 アーティスト・トーク 9月1日 あじびホール  
 ポ ス タ ー B2 デザイン マツダヒロチカデザイン事務所  
 図 録 A4変形 デザイン マツダヒロチカデザイン事務所  
 チ ラ シ A4 デザイン マツダヒロチカデザイン事務所

## 今日のモンゴル美術



会 期 2001年11月8日(木)~11月20日(火)  
 会 場 企画ギャラリーA・B  
 開 催 日 数 12日  
 観 覧 者 数 1,800人

平成13年度招聘研究者エンクツェツェグ・ダシュダヴァー(モンゴル)がその滞在研究の成果として企画。モンゴル国立近代美術館収蔵品のなかから、活発な活動を行っている40人の作家による伝統的なモンゴル画、油彩画、パステル画、版画、彫刻、工芸、コンピュータ・グラフィックス等の多岐にわたる作品約100点を展示し、モンゴルの新しい美術動向を紹介した。

関 連 事 業 ギャラリートーク  
 11月8日 10:00~ 企画ギャラリー  
 連続講座「エンケ先生のモンゴル現代美術講座」  
 11月10日 14:00~ 企画ギャラリー  
 11月17日 14:00~ 企画ギャラリー  
 ポ ス タ ー B2 デザイン マツダヒロチカデザイン事務所  
 リーフレット 840×297ジャバラ デザイン マツダヒロチカデザイン事務所  
 チ ラ シ A4 デザイン マツダヒロチカデザイン事務所

## 関連記事

2001年10月25日 読売新聞、「今日のモンゴル美術 41作家の97点紹介 連続講座も」、P.29  
 2001年11月 9日 毎日新聞(夕)、「モンゴル美術への招待 福岡アジア美術館で展覧会 遊牧の民の贈りもの」  
 2001年12月20日 西日本新聞、宇田懐「回顧2001美術 『観客との対話』多彩に 問われたメッセージ性(レジデンス・プログラム)」

## 第3回アーティスト・イン・レジデンスの成果展



会 期 2001年12月1日(土)~12月25日(火)  
 会 場 交流ギャラリー、交流スタジオ  
 開 催 日 数 22日  
 観 覧 者 数 1,569人

平成13年度招聘アーティスト4名が、滞在中に制作した作品などを展示、発表。アルフレッド・エスキーリョ(フィリピン)はフィリピンの乗り合いバス(ジープニー)の形をした立体作品を制作。カム・タン・サリアンカム(ラオス)はラオスの人々や寺院などの油彩画を描いた後、福岡で見た神社や海などを描き、ラオスと日本というふたつの文化を比較。レ・タン・デュク(ベトナム)はベトナムの人々や祭りなどを抽象化した油彩画を制作。ディアント(インドネシア)は交流スタジオの一角を仕切った壁に絵を描き、インスタレーション「苦難の中で」を構成。

関 連 事 業 レ・タン・デュクのギャラリートーク  
 12月1日 10:00~  
 交流ギャラリー  
 ディアントのパフォーマンス  
 12月1日 1回目11:00~、2回目14:00~  
 交流スタジオ

ポ ス タ ー B2 デザイン マツダヒロチカデザイン事務所  
 リーフレット 266×297 2つ折り5枚組 デザイン マツダヒロチカデザイン事務所  
 チ ラ シ A4 デザイン マツダヒロチカデザイン事務所

## 関連記事

2001年12月20日 西日本新聞(夕)、「第3回アーティスト・イン・レジデンスの成果展」、P.32

## 展示事業 コレクション展

### 〔アジアギャラリーA〕

#### アジアの近現代美術1

特設コーナー:祝祭のざわめき

4月19日(木)~7月3日(火)

インドのミティラー画やインドネシアのバリ絵画、新年を祝う中国の年画など、華やかな祝祭にまつわる民衆の造形を28作品によって紹介。

#### アジアの近現代美術2

特設コーナー:闘争する東南アジア作家

7月5日(木)~9月25日(火)

F.X.ハルソノ(インドネシア)、エルマー・ポルロンガン(フィリピン)など、圧政や経済のグローバル化の中で起こった社会の矛盾に向き合い、民主化や人権を求めて闘争する東南アジア美術の一断面を28作品で紹介。

#### アジアの近現代美術3

特設コーナー:うるわしの風景

9月27日(木)~12月25日(火)

今世紀初頭の近代絵画から、1980年代の東南アジアを中心とする風景をモチーフとした絵画24点により、アジアの作家たちがどのように自分の国の自然や風景を理想化したりアイデンティティのよりどころにしていたかを紹介した。

#### アジアの近現代美術4

特設コーナー:台湾美術の楽園

1月2日(木)~3月12日(火)

現代社会に満ちあふれた欲望をアイロニカルに表現するホウ・チュンミン(侯俊明)や台湾現代史をポップに見つめなおすメイ・ティンイー(梅丁衍)、ヤン・マリオン(楊茂林)など、派手やかでスタイリッシュな台湾現代アート15点を特集した。

### 〔アジアギャラリーB〕

#### 呂勝中ワールド!

3月29日(木)~6月5日(火)

中国の民衆の間で伝統的に作られてきた切り絵(剪纸)を用いて制作を行うリュ・シェンジョン(呂勝中)の大作6点をまとめて紹介。

#### エキゾチック・アジア~近代の輸出用絵画

6月7日(木)~8月7日(火)

チャイナ・トレード・ペインティング、ミャンマーの初期洋風画、インド・カンパニー派の細密画、インド初期洋風画など、アジア各地で西欧マーケット向けに作られた40点の作品の共通性と差異に注目した。

#### 揺れ動くインド~ 国際化とナショナリズムのはざままで

10月25日(木)~1月8日(火)

19世紀末から本格化したインド美術の近代化を、各時代の代表的な作家を取り上げながら、激動の20世紀半ばまでを絵画56点でたどる。

#### ベトナム・モダン

1月10日(木)~3月12日(火)

フランスの美術の影響や、漆絵や絹絵の伝統により特異な様式の発展をとげたベトナム近代美術。どこか懐かしくほのぼのとしたアオザイ・モガたちの登場するお洒落な絵画と彫刻40点を紹介。



交流事業



アジアで活躍する美術作家や研究者・学芸員等を一定期間招聘し、様々な交流事業をおこない、市民がアジアの美術・文化に対する興味を高め、理解を深める一助としている。また、人的な交流を深めることでアジアの美術の活性化にも繋げる。

本年度は、4人の美術作家と2人の研究者をそれぞれ3カ月間招聘した。

美術作家招聘事業



**アルフレッド・エスキリーヨ**  
Alfredo D. Esquillo Jr.  
(フィリピン)

1972年、フィリピン、ケソンに生まれる。1993年、サント・トマス大学美術学部を卒業。「20名のフィリピン現代美術作家展」(サンフランシスコ・アジア美術館、アメリカ、1998-1999)、「第1回福岡アジア美術トリエンナーレ」(福岡アジア美術館、1999)など多くの国際展で活躍している。

□滞在期間

2001年5月15日～8月14日

フィリピンの乗り合いバス、ジープニーを模した立体作品「天国への旅」を制作した。自転車とリヤカーを使って骨組みを作り、側面や屋根にキリストの図像や福岡に住むフィリピンの人たちの写真などを用いたパニグ・ペインティング(織絵)で装飾した。その作業に忙殺され、多くのボランティア・スタッフが制作を補助した。帰国直前に、バラバラの部品を組み立ててジープニーを完成させ、それに乗って空き缶の壁に突っ込む、罪深い信者が天国への道を探し求めるというパフォーマンスをおこなった。

□おもな活動

- 7月18日 春吉小学校でワークショップを実施。
- 7月29日 アジア親子塾「エスキューさんの織絵教室」を開催。
- 8月11日 交流ギャラリーでパフォーマンス「天国への旅」実施。
- 8月12日 交流ギャラリーで滞在制作作品を公開。(26日まで)



美術作家招聘事業



**カム・タン・サリアンカム**  
Kham Tanh Saliangkham  
(ラオス)

1973年、ラオス、ビエンチャンに生まれる。1994年、国立美術学校を卒業。1996年から同美術学校で絵画を教えている。「第2回福岡アジア美術トリエンナーレ」(福岡アジア美術館、2002)などに出品。

□滞在期間

2001年5月15日～8月12日

本国内で制作した下絵をもとにラオスの人々や寺院などの油彩画を描いた後、福岡で見た神社や海などを描くことで、ラオスと日本というふたつの文化を比較した。また、大学で裸婦デッサンの授業を受けたり、120人の小学生とワークショップをしたり、パフォーマンスをおこなったり、ラオスでは経験したことのないさまざまな刺激を受けて、制作活動に反映させていった。

□おもな活動

- 7月 6日 若宮小学校でワークショップを実施。
- 7月22日 アジア親子塾「カム・タンさんとラオスのかざりを作ろう」を開催。
- 8月11日 交流ギャラリーでパフォーマンス「バイシー」とギャラリー・トークを実施。
- 8月12日 交流ギャラリーで滞在制作作品を公開。(26日まで)



**レ・タン・デック**  
Le Thanh Duc  
(ベトナム)

1973年、ベトナム、クアンニンに生まれる。1996年、ハノイ美術学校を卒業。「ベトナム現代絵画展」(国立美術館、北京、中国/国立美術館、ビエンチャン、ラオス、1997)など多くの展覧会に出品。

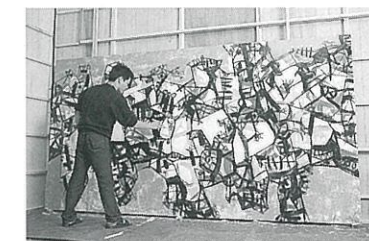
□滞在期間

2001年9月3日～12月3日

ベトナムの人々や祭りなどを抽象化した油彩画を驚くべき早さで描き上げ、滞在中に大小30点以上の作品を完成させた。また、商業ビルの空き店舗の長さ100メートルほどの壁面にベトナムと日本の祭りをテーマにした大作を描いた。福岡市美術館の紙すきのワークショップに参加したり、漆絵講座を開講して、ベトナム独自の漆絵の技法を紹介した。

□おもな活動

- 9月26日 博多リバレイン地下2階の空き店舗の仮設壁に絵画制作を開始。
- 11月18日 「デックさんのうるし絵講座」を開催。
- 12月 1日 「第3回アーティスト・イン・レジデンスの成果展」を開催。(25日まで) アーティスト・トークを実施。



**ディアント**  
Diyanto  
(インドネシア)

1962年、インドネシア、カディバタン生まれ。1991年、バンドン工科大学卒業。「第5回アセアン若手画家展」(シンガポール国立美術館、シンガポール、1987)、「非同盟国の現代美術展」(国立美術館、ジャカルタ、インドネシア、1995)をはじめ多くの展覧会に出品。インドネシアの社会状況をテーマにした絵画やインスタレーションを制作し、90年代からパフォーマンスを始める。

□滞在期間

2001年9月4日～12月4日

交流スタジオの一角を仕切って四方の壁に絵を描き、インスタレーション作品「苦難の中で」を制作した。また、滞在中にパフォーマンスを4回おこなった。その一連の活動は、自国の政治・社会への不安、自分を取り巻く状況等を福岡に滞在することで客観的に見つめ、問い直すという意図がうかがわれた。

□おもな活動

- 9月29日 博多リバレイン、フェスタスクエアでパフォーマンス「どこでもつながる私」を実施。
- 10月27日 博多リバレイン、フェスタスクエアでパフォーマンス「同じ太陽のもと」を実施。
- 11月15日 三苦小学校でワークショップを実施。
- 11月24日 あじびホールでパフォーマンス「危うい境界」を実施。
- 12月 1日 「第2回アーティスト・イン・レジデンスの成果展」を開催。(25日まで) 交流スタジオでパフォーマンス「苦難の中で」を実施。



## 交流事業 招聘事業

## 研究者・学芸員等招聘事業



リー・ユーリン (李玉玲)

Lee Yulin  
(台湾)

1963年、台北に生まれる。1986年、国立台湾大学外国語学部を卒業。1992年、上智大学比較文化研究所アジア文化学科で文学修士号を取得。1993-2000年、台北市立美術館に勤務。2001年からニューヨーク大学に在学。

## □滞在期間

2001年5月14日～8月13日

2002年3月16日～3月25日

「第2回福岡トリエンナーレ」の協力キュレーターとして日本作家選考に携わり、地元そして、関西、関東へ出かけ、作家たちと面談したり、美術館、ギャラリーを訪れ、精力的に調査をおこなった。また、連続講座では自国の美術を概説した。滞在中の成果は、3月に再度福岡を訪れ、「第2回福岡トリエンナーレ」のオープニング・シンポジウムの中でまとめられた。

## □おもな活動

5月25日 関西方面へ調査旅行(28日まで)

7月 1日 関東方面へ調査旅行。(6日まで)

7月21日 「李玉玲先生の台湾美術講座1」を開催。

7月28日 「李玉玲先生の台湾美術講座2」を開催。

3月21日 シンポジウム「アジアにおけるアーティストとアーティスト・スペース:発展・相互作用・創造」を開催。



エンクツェツェグ・ダッシュダヴァー

Enkhtsetseg Dashdavaa  
(モンゴル)

1964年、ウランバートルに生まれる。1992年、モンゴル国立大学国際関係学院を卒業。ウクライナ(ロシア)の文化学院で文化事業の運営法や方法論を学んだ後、ウランバートルの州立中央博物館に勤務。1998年からモンゴル国立近代美術館長。

## □滞在期間

2001年9月4日～12月3日

ミュージアム・マネージメントや日本の現代美術について精力的に調査・研究した。また、モンゴルから約100点の作品を輸送し、「今日のモンゴル美術」展を開催。自国の美術館制度を構築しようとする目的を持って、パワフルに活動した。また、講座では自国の現代美術を広く紹介した。

## □おもな活動

10月28日 関東方面へ調査。(30日まで)

11月 8日 「今日のモンゴル美術展」を開催。(20日まで) ギャラリートークを実施。

11月10日 「エンケ先生のモンゴル現代美術講座」を開催。

## 交流事業 ボランティア事業

8つの活動組織からなるボランティアが活動。図書資料ボランティア、学芸資料ボランティア、情報ネットボランティアは、従来どおり資料や情報の整理をおこなった。案内解説ボランティアは、ローテーションを組んで開館日の毎日、13時から16時まで来館者にアジアギャラリーの作品解説をおこなった。ボランティア通信編集ボランティアは、7月に「ボランティア通信 vol.5」を発行、ボランティア催事ボランティアは、招聘

美術作家・研究者との交流会を開催したり、広島県立美術館、広島市現代美術館、ひろしま美術館などを訪れる研修旅行を企画・実施した。交流ボランティアは、招聘美術作家・研究者をサポートし、作品に使う空き缶集めやシャツ縫い、パフォーマンスへの参加や、近郊美術館へのエスコートなど、活発に活動した。広報ボランティアは、あじびニュースの発送、配布等を行った。

## 活動内容

(H14年8月現在 登録者338人)

| 活動区分       | 活動内容                               | 人数(人) |
|------------|------------------------------------|-------|
| 図書資料       | 図書資料の整理、データの登録など                   | 64    |
| 学芸資料       | 学芸関連の資料・データの整理補助                   | 49    |
| 情報ネット      | 情報コーナーの資料整理など                      | 61    |
| 案内・解説      | アジアギャラリーの作品解説及び施設案内                | 47    |
| ボランティア通信編集 | ボランティア通信の編集、発行                     | 16    |
| ボランティア催事   | ボランティアの交流会、研修旅行等の企画・実施             | 19    |
| 交流         | 滞在家・研究者の支援(制作補助、研究補助、語学補助)、イベントの支援 | 197   |
| 広報         | あじびニュースの発送、ポスター、チラシ等の発送など          | 68    |
|            |                                    | 計 521 |

※一人が複数のグループに所属して活動できるため、上記の人数は延べ人数。

## 活動

## 平成13年

- 4月 1日 案内・解説ボランティア、アジアギャラリーの作品解説を行なう。(以後、随時活動)
- 2日 学芸ボランティア、新聞スクラップ作業を行なう。(以後、随時活動)
- 4日 広報ボランティア、「あじびニュースvol.4」を発送する。
- 5日 情報ネットボランティア、チラシやハガキの整理を行なう。(以後、随時活動)
- 6日 図書ボランティア、図書資料の整理を行なう。(以後、随時活動)
- 28日 月例の案内・解説ボランティアミーティング。催事ボランティア・ミーティング。モントリー・トエンソンバットとジャック・シヤリエのパフォーマンスに参加。
- 5月19日 月例の案内・解説ボランティア・ミーティング。交流ボランティア説明会。新しい滞在美術作家・研究者を紹介する。終了後、懇親会を開催。
- 6月18日 交流ボランティア、エスキの織絵の制作補助を始める。
- 7月 3日 「ボランティア通信 vol.5」を発行。
- 6日 交流ボランティア、若宮小学校のカムタンのワークショップをサポートする。案内・解説ボランティア、室見小学校4年生80人にアジアギャラリー等で解説する。
- 8日 交流ボランティア、エスキの制作に関連して、各人が日本のイメージを描き、ラミネート加工し、織絵を編む作業を行なう。
- 13日 交流ボランティア、春吉小学校でのエスキのワークショップの準備を行なう。
- 18日 交流ボランティア、春吉小学校でのエスキのワークショップをサポートする。
- 22日 交流ボランティア、アジア親子塾「カムタンさんとラオスのかざりを作ろう」をサポートする。
- 28日 月例の案内・解説ボランティアミーティング。催事ボランティア・ミーティング。
- 29日 交流ボランティア、アジア親子塾「エスキさんの織絵教室」をサポートする。
- 31日 交流ボランティア、カムタンを八女に案内する。
- 8月 8日 交流ボランティア、エスキがパフォーマンスで使うシーツを縫い始める。交流ボランティア、「招へい美術作家作品公開」の展示作業を行なう。(8/10まで)
- 9日 ボランティア通信編集会議。
- 18日 催事ボランティア・ミーティング。
- 23日 ボランティア通信編集会議。
- 27日 交流ボランティア、「招へい美術作家作品公開」の撤去作業を行なう。
- 9月 1日 月例の案内・解説ボランティアミーティング。催事ボランティア・ミーティング。
- 6日 ボランティア通信編集会議。
- 8日 交流ボランティア説明会。新しい滞在美術作家・研究者を紹介する。終了後、懇親会を開催。ボランティア通信編集会議。
- 9月12日 交流ボランティア、エンクツェツェグに日本語を教え始める。
- 20日 案内・解説ボランティア、春日市立春日西中学校3年生120人にアジアギャラリーを解説する。
- 28日 交流ボランティア、ディアントのパフォーマンスの準備をする。
- 29日 月例の案内・解説ボランティアミーティング。交流ボランティア、ディアントのパフォーマンスをサポートする。
- 10月 2日 案内・解説ボランティア、唐津市立第一中学校の生徒54人にアジアギャラリーを解説する。
- 13日 広島市への研修旅行に参加。
- 16日 交流ボランティア、この頃からディアントの三苫小学校で実施するワークショップの準備を行なう。
- 18日 ボランティア通信編集会議。
- 27日 月例の案内・解説ボランティアミーティング。
- 11月15日 交流ボランティア、三苫小学校のディアントのワークショップをサポートする。ボランティア通信編集会議。
- 12月 1日 月例の案内・解説ボランティアミーティング。忘年会。
- 22日 交流ボランティアミーティング。案内・解説ボランティアミーティング。

## 平成14年

- 1月26日 月例の案内・解説ボランティアミーティング。
- 31日 案内・解説ボランティア、麻生医療福祉専門学校に学生75人にアジアギャラリーを解説する。
- 2月23日 交流ボランティアミーティング。月例の案内・解説ボランティアミーティング。
- 3月14日 ボランティア通信編集会議。
- 16日 交流ボランティアミーティング。
- 23日 交流ボランティア、「アジア楽市楽座2002」をサポートする。
- 30日 「第2回福岡トリエンナーレ」交流プログラム、中津江村バスツアーに参加し、ワークショップをサポートする。

## 交流事業 その他

## アジア楽市楽座2002 アート、かたらんね、むすばんね!?



日時/3月23日(土) 11:00~21:00  
会場/博多リバレイン5階 アトリウムガーデン、福岡アジア美術館

地域交流イベントとして「アジア楽市楽座2002 アート、かたらんね、むすばんね!？」を博多リバレイン5階のアトリウムガーデンで開催した。これは、美術館が堅苦しいとか、アジアの現代美術は難しいといった、これまで美術や美術館にあまり関心のなかった人たちにも福岡アジア美術館でアジアの美術や文化を知っていただきたいという意図で企画された。

3回目になる今回は、「第2回福岡トリエンナーレ」の交流プログラムに参加しているアーティストたちが、ワークショップやパフォーマンスをおこない、アジアの雑貨やアート・グッズのフリーマーケットをメインに賑やかアート・フェスティバルが開催された。

## プログラム

- オープニング
- アジア・アート・フリーマーケット  
フリマ・アビールタイム「これが、自慢の一品」
- アジアのアーティストによるワークショップ&パフォーマンス  
アノリ・ペレラ(スリランカ)のワークショップ「編む」  
ノニ・コー(シンガポール)のワークショップ  
アラク・ロイ(バングラデシュ)のワークショップ「ライブ」  
チェン・シャオフォン(中国)のワークショップ「福岡市民の社会象と芸術象の調査報告」  
チュア・チョンヨン(マレーシア)のワークショップ「記憶の倉庫」  
スッティ・クッナーウィチャーヤノン(タイ)のワークショップ「遠くて近いもの」  
「呼吸の収集」  
トゥン・ウイン・アウン(ミャンマー)のパフォーマンス「is-ness」
- 福岡や関西などを拠点に活動しているミュージシャンのミニライブコンサート。  
長谷川もんどライブコンサート  
也許文吾ライブコンサート  
とんちピクルスライブコンサート  
月夜ライブコンサート  
ナジオライブコンサート
- 特別プログラム  
FMタベのひととき「日韓交流ライブスペシャル」

## 関連記事

- 2002年3月 8日 西日本新聞、「(出番)堀川理沙さん(23) アジア楽市楽座2002」、P.25
- 2002年3月12日 西日本新聞、「(文化短信)アジア楽市楽座2002—アート、かたらんね、むすばんね!？」、P.17
- 2002年3月16日 朝日新聞、「アジア楽市楽座2002 アート、かたらんね、むすばんね!？」、P.4
- 2002年3月24日 西日本新聞、「アジアの才能と交流 作品を公開制作 スリランカなど7カ国の芸術家 福岡市で楽市楽座」、P.30



あじびニュース

vol.4 2001.4.1発行  
2001年度の展覧会案内、  
2001年度の滞在作家・研究者の紹介、  
“第2回福岡トリエンナーレ”への道、  
アーティスト・ブック、  
ボランティア特別研修、  
サブリスさんの展覧会



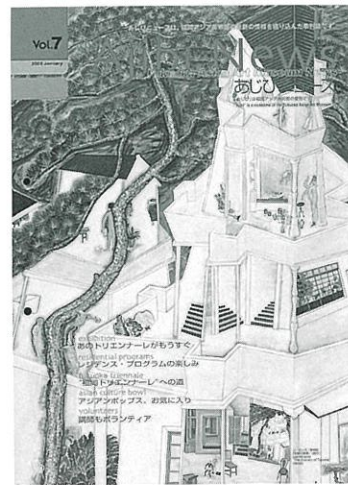
vol.5 2001.7.1発行  
スタルシヤン・シェツタイ展、  
レジデンス・プログラムの楽しみ、  
“福岡トリエンナーレ”への道、  
アジアの現代文学、  
新しいコレクションの勉強会、  
グブタさん、ビデオ作品完成



vol.6 2001.10.1発行  
秋もアジ美はアート満載、  
レジデンス・プログラムの楽しみ、  
“福岡トリエンナーレ”への道、  
アジアの漫画、  
滞在研究者・作家を迎えた歓迎パーティー、  
韓国のお菓子を作ろう!



vol.7 2002.1.15発行  
あのトリエンナーレがもうすぐ、  
レジデンス・プログラムの楽しみ、  
“福岡トリエンナーレ”への道、  
アジアンポップスお気に入り、  
講師もボランティア



規格 A4 8ページ  
編集/発行 福岡アジア美術館  
企画・デザイン/編集 Artquest



新所蔵作品

新所蔵作品

新所蔵作品数

|     | 購入 | 寄贈 | 合計 |
|-----|----|----|----|
| 絵画  | 7  | 1  | 8  |
| 版画  | -  | -  | 0  |
| 彫刻  | 2  | 1  | 3  |
| 写真  | 8  | 12 | 20 |
| その他 | 15 | -  | 15 |
| 合計  | 32 | 14 | 46 |

新所蔵作品一覧

|  |  |  |
|--|--|--|
| 1<br>カルトノ・ユドクスモ<br>風景(まばゆい沼)<br>1949<br>絵画 油彩・画布<br>54.0×98.5 インドネシア             | 6<br>ジョセフ・アングベルティ<br>アトリエ<br>1933<br>絵画 油彩・画布<br>156.5×167.3 ベトナム        | 11<br>スレイヤ・ラーマン<br>民話「ルバとジャジュ」/壁掛け<br>2000<br>その他 布に刺繍<br>87×106 バングラデシュ |
| 2<br>ユー・キョンチェ<br>季節<br>1962<br>絵画 油彩・画布<br>162.0×103.0 韓国                        | 7<br>チェン・ジン(陳進)<br>サンティモン社の女<br>1936<br>絵画 絹本着色<br>147.8×198.7 台湾        | 12<br>作者不詳<br>黄金のベンガル/壁掛け<br>2000<br>その他 布に刺繍<br>82×163 バングラデシュ          |
| 3<br>イー・ジュンモツ<br>見られる手、読まれる手<br>2000<br>彫刻 ゴム製手袋・木・モニター5<br>240.0×480.0×100.0 韓国 | 8<br>作家不詳<br>台湾高砂族の女<br>近年(20c)<br>絵画 紙本着色<br>213.9×173.7 台湾             | 13<br>作者不詳<br>農村女性の仕事/壁掛け<br>2000<br>その他 布に刺繍<br>96×51 バングラデシュ           |
| 4<br>イー・ブル<br>さなぎ<br>2000<br>彫刻 ポリウレタン板・アルミニウム<br>270.0×157.0×120.0 韓国           | 9<br>スレイヤ・ラーマン<br>王冠/壁掛け<br>2000<br>その他 布に刺繍<br>158×105 バングラデシュ          | 14<br>作者不詳<br>植民地時代の生活/ベッドカバー<br>2000<br>その他 布に刺繍<br>333×331 バングラデシュ     |
| 5<br>フェルナンド・アモルソロ<br>パタアの少女<br>1942<br>絵画 油彩・画布<br>86.5×104 フィリピン                | 10<br>スレイヤ・ラーマン<br>植民地時代のベンガル/壁掛け<br>2000<br>その他 布に刺繍<br>154×106 バングラデシュ | 15<br>作者不詳<br>蓮と動植物文様/ベッドカバー<br>2000<br>その他 布に刺繍<br>235×294 バングラデシュ      |

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| 16<br>作者不詳<br>蓮と動植物文様/ベッドカバー<br>2000<br>その他 布に刺繍<br>181×226 バングラデシュ   | 24<br>G.M. シェイク<br>誕生の選択<br>1992-94<br>絵画 油彩・画布<br>165.5×213 インド        | 32<br>スタルシャン・シェッティ<br>サミクシャ<br>1999(2001)<br>写真 デジタルプリント<br>55.3×83 インド                       | 40<br>ソン・アユ(孫 雅由)<br>身体の風景 BL70(2001)-06<br>1970(2001)<br>写真 ゼラチンシルバープリント<br>15.9×16 韓国(寄贈)   |
| 17<br>作者不詳<br>ラクシュミーのいる蓮と山車/壁掛け<br>2000<br>その他 布に刺繍<br>99×149 バングラデシュ | 25<br>スタルシャン・シェッティ<br>プリア<br>1999(2001)<br>写真 デジタルプリント<br>55.3×83 インド   | 33<br>スタルシャン・シェッティ<br>ここで、それともどこかで<br>2001<br>彫刻 木製椅子、木製机、布、鉄、電気仕掛け<br>インド(寄贈)                | 41<br>ソン・アユ(孫 雅由)<br>身体の風景 BL70(2001)-07<br>1970(2001)<br>写真 ゼラチンシルバープリント<br>16×15.7 韓国(寄贈)   |
| 18<br>作者不詳<br>結婚式/壁掛け<br>2000<br>その他 布に刺繍<br>84×190 バングラデシュ           | 26<br>スタルシャン・シェッティ<br>ナヨミエ<br>1999(2001)<br>写真 デジタルプリント<br>55.3×83 インド  | 34<br>ソン・アユ(孫 雅由)<br>空間の間合AC95-07<br>1995<br>絵画 木炭、顔料、アクリルメディウム・綿布<br>336.7×145.7 韓国(寄贈)      | 42<br>ソン・アユ(孫 雅由)<br>身体の風景 BL70(2001)-08<br>1970(2001)<br>写真 ゼラチンシルバープリント<br>16×16.1 韓国(寄贈)   |
| 19<br>作者不詳<br>蓮と動植物文様/ベッドカバー<br>2000<br>その他 布に刺繍<br>183×267 バングラデシュ   | 27<br>スタルシャン・シェッティ<br>マヌ<br>1999(2001)<br>写真 デジタルプリント<br>56.4×83 インド    | 35<br>ソン・アユ(孫 雅由)<br>身体の風景 BL70(2001)-01<br>1970(2001)<br>写真 ゼラチンシルバープリント<br>16×16 韓国(寄贈)     | 43<br>ソン・アユ(孫 雅由)<br>身体の風景 BL70(2001)-09<br>1970(2001)<br>写真 ゼラチンシルバープリント<br>16.1×16.1 韓国(寄贈) |
| 20<br>作者不詳<br>ベーズリー文様/壁掛け<br>2000<br>その他 布に刺繍<br>80×154 インド           | 28<br>スタルシャン・シェッティ<br>無題<br>1999(2001)<br>写真 デジタルプリント<br>55.3×83 インド    | 36<br>ソン・アユ(孫 雅由)<br>身体の風景 BL70(2001)-02<br>1970(2001)<br>写真 ゼラチンシルバープリント<br>15.9×15.9 韓国(寄贈) | 44<br>ソン・アユ(孫 雅由)<br>身体の風景 BL70(2001)-10<br>1970(2001)<br>写真 ゼラチンシルバープリント<br>16.1×16.2 韓国(寄贈) |
| 21<br>作者不詳<br>動植物文様(モチーフ目録)/壁掛け<br>2000<br>その他 布に刺繍<br>180×110 インド    | 29<br>スタルシャン・シェッティ<br>スミタ<br>1999(2001)<br>写真 デジタルプリント<br>56.6×83 インド   | 37<br>ソン・アユ(孫 雅由)<br>身体の風景 BL70(2001)-03<br>1970(2001)<br>写真 ゼラチンシルバープリント<br>16×15.9 韓国(寄贈)   | 45<br>ソン・アユ(孫 雅由)<br>身体の風景 BL70(2001)-11<br>1970(2001)<br>写真 ゼラチンシルバープリント<br>16×16 韓国(寄贈)     |
| 22<br>作者不詳<br>風の波文様/壁掛け<br>2000<br>その他 布に刺繍<br>140×70 インド             | 30<br>スタルシャン・シェッティ<br>スリジャナ<br>1999(2001)<br>写真 デジタルプリント<br>55.3×83 インド | 38<br>ソン・アユ(孫 雅由)<br>身体の風景 BL70(2001)-04<br>1970(2001)<br>写真 ゼラチンシルバープリント<br>15.9×16 韓国(寄贈)   | 46<br>ソン・アユ(孫 雅由)<br>身体の風景 BL70(2001)-12<br>1970(2001)<br>写真 ゼラチンシルバープリント<br>16.1×16 韓国(寄贈)   |
| 23<br>作者不詳<br>瀑布文様/壁掛け<br>2000<br>その他 布に刺繍<br>108×60 インド              | 31<br>スタルシャン・シェッティ<br>サンギータ<br>1999(2001)<br>写真 デジタルプリント<br>55.1×83 インド | 39<br>ソン・アユ(孫 雅由)<br>身体の風景 BL70(2001)-05<br>1970(2001)<br>写真 ゼラチンシルバープリント<br>16×16.1 韓国(寄贈)   | 番号<br>制作者<br>タイトル<br>制作年<br>ジャンル 素材<br>サイズ 制作地  |

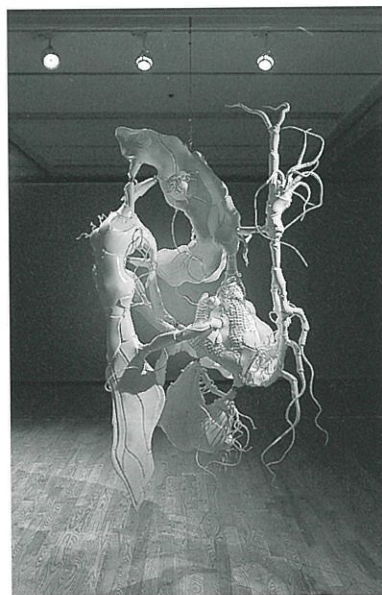
新所蔵作品



ユー・キョンチェ  
季節  
1962  
絵画 油彩・画布  
162.0×103.0 韓国



スレイヤ・ラーマン  
植民地時代のベンガル／壁掛け  
2000  
その他 布に刺繍  
154×106 バングラデシュ



イー・ブル  
さなぎ  
2000  
彫刻 ポリウレタン板・アルミニウム  
270.0×157.0×120.0 韓国



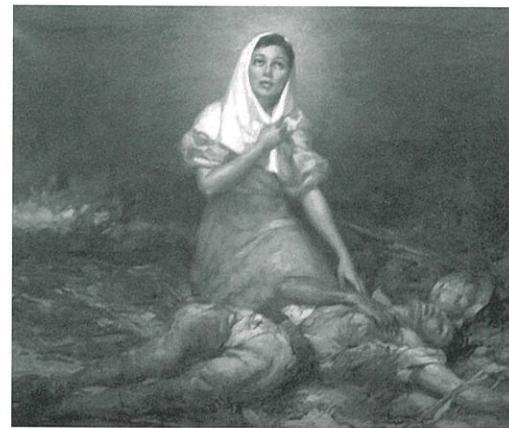
ソン・アユ(孫雅由)  
空間の間合AC95-07  
1995  
木炭、顔料、アクリル、綿布  
336×145.5



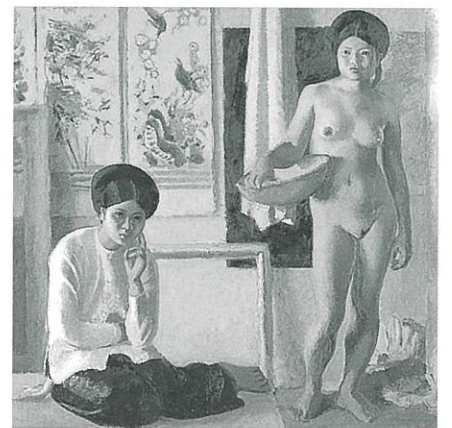
スタルシャン・シェッティ  
ここで、それともどこかで  
2001  
彫刻 木製椅子、木製机、布、鉄、電気仕掛け  
インド(寄贈)



G.M. シェイク  
誕生の選択  
1992-94  
絵画 油彩・画布  
165.5×213 インド



フェルナンド・アモルソロ  
バタアの少女  
1942  
絵画 油彩・画布  
86.5×104 フィリピン



ジョセフ・アンガンベルティ  
アトリエ  
1933  
絵画 油彩・画布  
156.5×167.3 ベトナム

入館者数

年度別入館者数

| 年度別  | 開館日数 | 常設展    | 特別企画展   | 貸館展覧会等  | 合計      | 1日平均  |
|------|------|--------|---------|---------|---------|-------|
| 10年度 | 22   |        | 22,250  |         | 22,250  | 1,011 |
| 11年度 | 300  | 38,530 | 149,395 | 70,336  | 258,261 | 1,067 |
| 12年度 | 309  | 66,421 | 118,677 | 106,529 | 291,627 | 944   |
| 13年度 | 302  | 29,632 | 15,330  | 186,987 | 231,949 | 768   |
| 累計   |      |        |         |         | 804,087 | 862   |

月別入館者数

| 月  | 4     | 5      | 6      | 7     | 8      | 9     | 10     | 11     | 12    | 1      | 2      | 3      | 合計      |
|----|-------|--------|--------|-------|--------|-------|--------|--------|-------|--------|--------|--------|---------|
| 人数 | 9,504 | 12,459 | 14,882 | 9,177 | 13,480 | 7,441 | 11,232 | 10,293 | 9,133 | 64,950 | 51,728 | 17,670 | 231,949 |

常設展・特別企画展

| 展覧会名                               | 開催期間               | 日数  | 有料観覧者数 |        |        |       | 日平均   |       |     |
|------------------------------------|--------------------|-----|--------|--------|--------|-------|-------|-------|-----|
|                                    |                    |     | 計      | 有料     | 一般     | 高・大   |       |       |     |
| 常設展                                |                    | 292 | 29,632 | 22,462 | 18,195 | 3,185 | 1,082 | 7,170 | 101 |
| 特別企画展<br>タンカの世界<br>チベット仏教美術展       | 自 5月12日<br>至 7月 1日 | 44  | 13,288 | 10,277 | 8,916  | 1,024 | 337   | 3,011 | 302 |
| 特別企画展<br>第2回福岡アジア美術<br>トリエンナーレ2002 | 自 3月21日<br>至 3月31日 | 10  | 2,042  | 1,142  | 925    | 217   | (89)  | 900   | 204 |
| 合計                                 |                    |     | 15,330 | 11,419 | 9,841  | 1,241 | 337   | 3,911 |     |

※トリエンナーレ小・中生( )数は無料観覧者に含まれる。

貸館展覧会等

| 7階企画ギャラリー                | 開催期間            | 日数 | 観覧者数   | 日平均   | 内容等                  |
|--------------------------|-----------------|----|--------|-------|----------------------|
| 世紀を越えて今蘇るシルクロード西域文物展     | 皇 4月 5日- 4月30日  | 23 | 5,239  | 228   | 菩薩頭部像を含む文物約150点      |
| 福岡市美術連盟展                 | 皇 5月 3日- 5月 8日  | 6  | 2,066  | 344   | 日本画、油彩画、水彩画等約200展    |
| 第11回アジア美術家連盟日本委員会展       | 皇 7月 5日- 7月10日  | 6  | 1,472  | 245   | 参加国11カ国の会員による作品      |
| 孫雅由展                     | 皇 7月12日- 7月24日  | 12 | 1,339  | 112   | 60年代後半から最新作まで35年間の仕事 |
| 第25回全国高等学校総合文化写真展(全国展)   | 皇 8月 3日- 8月 7日  | 5  | 3,955  | 791   | 全国写真展の入選作品約300展      |
| アジア・ファイバー・アート展           | 皇 8月 9日- 8月14日  | 6  | 977    | 163   | アジア各国作家によるファイバー・アート  |
| 福教大美術科グループ展              | 皇 8月16日- 8月21日  | 6  | 502    | 84    | 日本画、油彩画、イラスト等        |
| 第6回アジア工芸展                | 皇 8月18日- 8月28日  | 9  | 2,951  | 328   | 九州、山口、アジア各国の陶磁、染織等   |
| 第8回世界こども図画コンテスト展         | 皇 8月23日- 8月28日  | 6  | 1,038  | 173   | 世界コンテストの入賞作品約180点    |
| 古墳壁画とほとけたち               | 皇 8月30日- 9月11日  | 12 | 1,593  | 133   | 古代装飾壁画から近代を描く約100点   |
| 2001アジアデジタルアート大賞展        | 皇 9月15日- 9月24日  | 9  | 1,939  | 215   | アジア在住の応募作品約80点       |
| 第29回鶴岡美術展                | 皇 9月27日-10月 2日  | 6  | 650    | 108   | 洋画、日本画、工芸等の作品        |
| 川久保博個展写真と俳句展             | 皇 10月 4日-10月 9日 | 6  | 677    | 113   | 写真3点、俳句200点          |
| 平面の自在展2001               | 皇 10月 4日-10月16日 | 12 | 1,187  | 99    | 九州の作家6人による平面や立体作品    |
| 真空の島・台湾大木昭夫写真展           | 皇 10月 4日-10月16日 | 12 | 1,648  | 137   | 70年代成瀬令下の台湾の写真約120点  |
| 現代モンゴル芸術展                | 皇 10月11日-10月16日 | 6  | 443    | 74    | 北九州博覧会の出展作家15名の作品    |
| 坂井公明彫刻展                  | 皇 10月18日-10月23日 | 6  | 637    | 106   | 具象人体彫刻等約40点          |
| 第3回福岡九州建築交流展             | 皇 10月18日-10月23日 | 6  | 433    | 72    | 福岡と韓国光州に在住の建築家による作品  |
| 招福日本画・水墨画・近代表装3人展        | 皇 10月18日-10月30日 | 12 | 950    | 79    | 日本画、水墨画、表装等約50点      |
| 第16回水墨祥泉会展               | 皇 10月25日-10月30日 | 6  | 1,456  | 243   | 水墨画約80点、軸装約20点       |
| MOA美術館福岡児童作品展            | 皇 10月25日-10月30日 | 6  | 1,012  | 169   | 優秀作品約120点            |
| 第9回中島美香とそのグループ展          | 皇 11月 1日-11月 6日 | 6  | 3,173  | 529   | チャイナペインティング500点      |
| 今日のモンゴル美術                | 皇 11月 8日-11月20日 | 12 | 1,800  | 150   | モンゴル国立近代美術館収蔵品約100点  |
| 百瀬研究室写真展                 | 皇 11月22日-11月27日 | 6  | 590    | 98    | デジタルプリント写真約30点       |
| 九州グラフィックデザイナーズクラブ会員展     | 皇 11月22日-11月27日 | 6  | 869    | 145   | ポスター、タペストリー等約40点     |
| 第3回福岡・釜山交流写真展            | 皇 11月22日-11月27日 | 6  | 785    | 131   | 写真約150点              |
| 第3回博多区芸術作品展              | 皇 11月29日-12月 4日 | 6  | 670    | 112   | 水彩画、油彩画、写真等約60点      |
| 章翠英の中国水墨画個展              | 皇 12月 7日-12月 9日 | 3  | 216    | 72    | 人物画と山水画60点           |
| 女性美の500年「描かれたイメージ:西洋と日本」 | 皇 12月15日- 1月26日 | 32 | 66,824 | 2,088 | 西洋、東洋、日本画の女性像約120点   |
| 国立カイロ博物館所蔵古代エジプト文明展      | 皇 2月 2日- 3月 5日  | 28 | 57,241 | 2,044 | 国立カイロ博物館の至宝約75点      |

貸館展覧会等

| 8階交流ギャラリー                   | 開催期間            | 日数 | 観覧者数    | 日平均 | 内容等                  |
|-----------------------------|-----------------|----|---------|-----|----------------------|
| 日韓版画交流展                     | 皇 3月29日- 4月 3日  | 3  | 249     | 83  | 日韓の版画家30人の作品90点      |
| 2001年マンダラへの旅                | 皇 4月 5日- 4月10日  | 6  | 490     | 82  | タンカ(仏画)約40点          |
| 心のオアシス敦煌浄土絵画展               | 皇 4月12日- 4月24日  | 12 | 1,847   | 154 | 敦煌研究院美術研究所の画家3人展     |
| 伊藤五恵(陶芸)展                   | 皇 4月26日- 4月30日  | 5  | 463     | 93  | 「いえ」シリーズ、オブジェ等の陶芸作品  |
| 大地・生命のめぐり(Earth-Paper Art)展 | 皇 5月 3日- 5月 8日  | 6  | 560     | 93  | 土と段ボール粘土を混合し制作した作品等  |
| 渡辺祥行絵画展                     | 皇 5月10日- 5月15日  | 6  | 601     | 100 | 油彩画50点、水彩画20点、日本画10点 |
| FCPC写真教室第2回作品展              | 皇 5月17日- 5月29日  | 12 | 812     | 68  | 写真約100点、写真集約10冊      |
| 西村幸広油画展                     | 皇 5月31日- 6月 5日  | 6  | 128     | 21  | 油彩画、インスタレーション、銅版画30点 |
| PUSAN ART FAIR2001          | 皇 6月 7日- 6月26日  | 18 | 603     | 34  | 空版画、デジタルプリンティング等     |
| 周欽和油彩・テンペラ作品展               | 皇 6月28日- 7月 3日  | 6  | 706     | 118 | 油彩、テンペラ作品30点         |
| 仏教美術の源流と伝承展                 | 皇 7月 5日- 7月17日  | 12 | 1,806   | 151 | 仏教壁画の写真と模写絵          |
| コヨハンナラ展                     | 皇 7月19日- 7月24日  | 6  | 298     | 50  | 韓国作家による写真、デザイン等約50点  |
| 2001版芸術と新造形の国際交流展           | 皇 7月26日- 7月31日  | 6  | 732     | 122 | デジタルアート作品対象の公募展      |
| 招聘美術作家滞在制作作品展               | 皇 8月12日- 8月26日  | 13 | 821     | 63  | 前期招聘美術作家による作品        |
| 凌大雄個展                       | 皇 11月 1日-11月 6日 | 6  | 208     | 35  | 100×200大の写真約20点      |
| 原田素子展                       | 皇 11月 8日-11月13日 | 6  | 270     | 45  | 油彩画約10点              |
| 滝口和男展「陶」                    | 皇 11月15日-11月27日 | 12 | 623     | 52  | やきものオブジェ約15点         |
| 第3回アーティスト・イン・レジデンスの成果展      | 皇 12月 1日-12月25日 | 22 | 1,569   | 71  | 招聘美術作家による作品展         |
| アジア現代彫刻会帰国展                 | 皇 1月 2日- 1月 8日  | 7  | 288     | 41  | 韓国ヨンウン美術館で行った帰国展     |
| 大辻清司の写真展                    | 皇 1月10日- 1月22日  | 11 | 940     | 85  | モノクロ写真約100点、撮影機材20点  |
| 第2回九州産業大学フォトコンテスト上野彦馬賞      | 皇 1月24日- 1月31日  | 4  | 1,016   | 254 | 入賞者作品約90点            |
| 第2回福岡養護学校アート展               | 皇 2月 2日- 2月 5日  | 4  | 587     | 147 | 児童の絵画、工芸等約90点        |
| 第7回福岡県幼児画展                  | 皇 2月 7日- 2月11日  | 5  | 2,136   | 427 | 福岡県内の幼児450名の絵画       |
| 暮らしを彩るパッチワークキルト展            | 皇 2月14日- 2月19日  | 6  | 3,905   | 651 | タペストリー、小物類等約80点      |
| DESIGN WORKS2002            | 皇 2月21日- 2月26日  | 6  | 380     | 63  | 近畿大学九州工学部産業デザイン科卒業展  |
| 九州ビジュアルアーツ写真学科卒業制作展         | 皇 2月28日- 3月 5日  | 6  | 617     | 103 | 写真約350点              |
| 合計 56展                      |                 |    | 186,987 |     |                      |

あじびホール年度別使用状況

|      | 件数  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 人数     |
|------|-----|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--------|
| 10年度 | 21  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1,730  |
| 11年度 | 110 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 8,480  |
| 12年度 | 106 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 9,682  |
| 13年度 | 58  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 8,834  |
| 累計   | 295 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 28,726 |

あじびホール月別使用状況

| 月別 | 4   | 5   | 6   | 7   | 8   | 9     | 10    | 11    | 12  | 1   | 2   | 3   | 合計    |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|-------|-----|-----|-----|-----|-------|
| 件数 | 4   | 5   | 3   | 8   | 4   | 10    | 8     | 7     | 2   | 3   | 3   | 1   | 58    |
| 人数 | 434 | 379 | 281 | 817 | 479 | 2,779 | 1,315 | 1,293 | 287 | 221 | 305 | 244 | 8,834 |

あじびホール使用状況内訳

| 催物別       | 件数 | 人数    |
|-----------|----|-------|
| 講演会       | 12 | 1,237 |
| セミナー      | 1  | 15    |
| 映画        | 10 | 2,674 |
| ボランティア研修会 | 5  | 415   |
| 演劇        | 10 | 2,371 |
| アジア美術館大学  | 5  | 401   |
| 音楽        | 3  | 380   |
| シンポジウム    | 2  | 155   |
| イベント      | 5  | 299   |
| 落語        | 1  | 80    |
| 講習会       | 1  | 500   |
| 研修会       | 1  | 7     |
| その他       | 2  | 300   |
| 合計        | 58 | 8,834 |

## 活動記録

## 平成13年

- 5月12日 「タンカの世界—チベット仏教美術展」開  
会式
- 5月22日 作家五木寛之氏来館
- 5月14日 招聘研究者リー・ユーリン氏滞在(8月13日  
まで)
- 5月15日 招聘美術作家アルフレッド・エスキーリョ  
氏滞在(8月14日まで)
- 5月15日 招聘美術作家カム・タン・サリアンカム氏  
滞在(8月12日まで)
- 6月12日 第1回美術館協議会
- 6月30日 あじびホール事業「中国を知ろう」
- 7月16日 紀宮清子内親王殿下お成り
- 7月29日 あじびホール事業「アジアの音楽を楽しもう」
- 8月13日 台北市長馬英九氏一行来館
- 8月30日 スダルシャン・シェッティ氏、シャーン・カッ  
トー氏来館(9月2日まで滞在)
- 9月 1日 「スダルシャン・シェッティ展」開会式
- 9月 1日 在大阪インド総領事ヨゲシュワル・ヴァル  
マ氏来館
- 9月 3日 招聘美術作家ル・タン・デユク氏滞在(12  
月3日まで)
- 9月 4日 招聘美術作家ディアント氏滞在(12月4日  
まで)
- 9月 4日 招聘研究者エンクツェツェグ・ダシュダヴァ  
ー氏滞在(12月3日まで)
- 9月10日 広州市旅遊局局長李志新氏一行来館
- 9月13日 外務省大臣官房文化交流部審議官城田安  
紀夫氏一行来館
- 9月14日 第12回福岡アジア文化賞芸術・文化賞受  
賞者画家タウン・ダッチャニー氏来館
- 9月14日 バングラディッシュ大使ジャミル・マジッド氏  
夫妻来館
- 9月15日 あじびホール事業「タイの踊りを体験しよう」
- 9月17日 マレーシアイポー市役所事務総長ザイナル・  
アビディン氏一行来館
- 9月21日 シンガポール情報芸術大臣デビッド・T.E.  
リム氏一行来館
- 10月16日 ネパール新聞記者アルン・ランジット氏、  
ビショー・ナット・ブラダン氏来館
- 10月24日 琵琶湖アジア芸術文化祭「アジア美術  
2001歴史と展望」に作品を一括貸与(11  
月18日まで)

- 11月 3日 あじびホール事業「韓国のお菓子を作ろう!」
- 11月 5日 企画運営会議
- 11月 8日 「今日のモンゴル美術」展開会式
- 11月20日 第2回美術館協議会
- 12月 1日 「第3回アーティスト・イン・レジデンスの成  
果展」開会式
- 12月 1日 昭和音楽大学教授キャサリン・リーゾナー  
氏来館
- 12月 6日 駐日オーストラリア大使ジョン・マッカーシ  
ー氏一行来館
- 12月10日 駐日モンゴル国大使館公使ルフサンドー  
ダシプレブ氏来館
- 12月11日 美術資料収集審査会
- 12月15日 「女性美の500年展」開会式
- 12月18日 アトランタ姉妹都市委員大邱部会長Yong  
Kang氏来館
- 12月25日 仕事納め(12月16日から1月1日まで休館)

## 平成14年

- 1月 2日 臨時開館
- 1月19日 アジア文化カウンシルディレクターラルフ・  
サミュエルソン氏来館
- 2月 2日 「古代エジプト展」開会式
- 3月14日 臨時休館(第2回福岡アジア美術トリエン  
ナーレ2002会場設営による)(3月19日まで)
- 3月16日 研究者招聘リー・ユーリン氏来福(3月25日  
まで滞在)
- 3月20日 「第2回福岡アジア美術トリエンナーレ  
2002」開会式・レセプション
- 3月23日 アジア楽市楽座2002開催
- 3月27日 中国閩東美術館長王黄生氏一行来館
- 3月29日 デンマーク文化発達センター館長オラフ・  
デルラッハ・ハンセン氏来館

## 概要





アジア美術の独自の創造を目指す一助とするため、  
 アジア近現代美術を通して人々が集い、  
 互いに理解し、創造、発信するアジア美術の交流の場とする。  
 また、世界的に有数の質の高いアジア近現代美術作品の集積を生かし、  
 展示、収集のみならず、日常的なアジアとの交流、  
 調査研究活動を積極的に展開するとともに、  
 アジアの芸術家や研究者等と日本の芸術家、研究者、  
 市民が互いに創り、学びあうことにより、  
 新たな創造と相互理解を促す機会を提供する。

## 活動内容

### 1 美術交流・研究事業

アジアの作家や研究員等を福岡に招聘し、美術館でライブの創作活動を公開しながら、市民と一緒に作品を創作し、また、最新の研究成果を発信する等、多彩な美術交流事業を日常的に実施する。

- (1) アジアからの滞在作家との交流事業
  - 市民共同創作事業
  - 実技講座
  - 滞在制作展覧会
  - 滞在作家講演会
- (2) 調査研究事業
  - 国内外の研究者によるアジア近現代美術の作家、作品、美術史等の研究成果の発表として展覧会や講演会の企画、開催する。

人材育成、支援  
 ・アジアの美術作家や研究者等の支援、育成、協力(留学学芸員受入れ、派遣等)

地域交流  
 ・アジア美術の背景にあるアジア文化について、多くの市民が気楽に参加し、アジアを身近に感じることができるイベントを開催する。

### 2 展示事業

- (1) コレクション展示
  - 収蔵品を展示することでアジア近現代美術の流れをたどり、また、ジャンル別やテーマ別にアジア美術作品を紹介する。
- (2) 企画展示
  - 特徴的なアジア近現代美術をシリーズで紹介する。
    - ・近代美術シリーズ
    - ・現代アジアの作家シリーズ
    - ・アート 横断シリーズ
    - ・生活とアートシリーズ
- (3) 特別企画展
  - アジア美術の最新動向を紹介する「福岡アジア美術トリエンナーレ」を3年毎に開催する。アジアのみならず、幅広い分野の特別企画展を主催、共催する。

### 3 収集事業

- (1) 収集方針
  - アジア美術の独自性を示す優れた作品を、近現代を中心に収集する。
- (2) 収集作品の対象範囲
  - 対象範囲
    - ・パキスタン以東、モンゴル以南、インドネシア以北・以西
  - 対象とする時代範囲
    - ・原則として、19世紀から現代までの近現代を中心とする時代。ただし、アジア近現代美術の流れを研究するうえで必要な近代以前の美術資料の収集も行う。

### 4 教育普及事業

- (1) 美術情報コーナー
  - 福岡アジア美術館で開催する様々な催し物の案内や収蔵品、展示作品の紹介、その他の特集コーナーを設け、アジア美術の理解を深める資料を提供する。さらに、アジア全域にわたって美術を紹介するオリジナルの番組ビデオ「アジアの美シリーズ」を上映する。
- (2) アジア美術紹介ビデオ、出版物等
  - アートビデオをシリーズで上映、また、収蔵品ガイドブックやニュースレター、インターネット等により教育普及を図る。
- (3) あじびホール
  - 美術交流事業や展覧会にあわせて、美術教育プログラム、講演会やシンポジウム等を開催する。また、ミニコンサートや小演劇、上映会等、文化・芸術活動を楽しむ機会を提供する。

施設概要

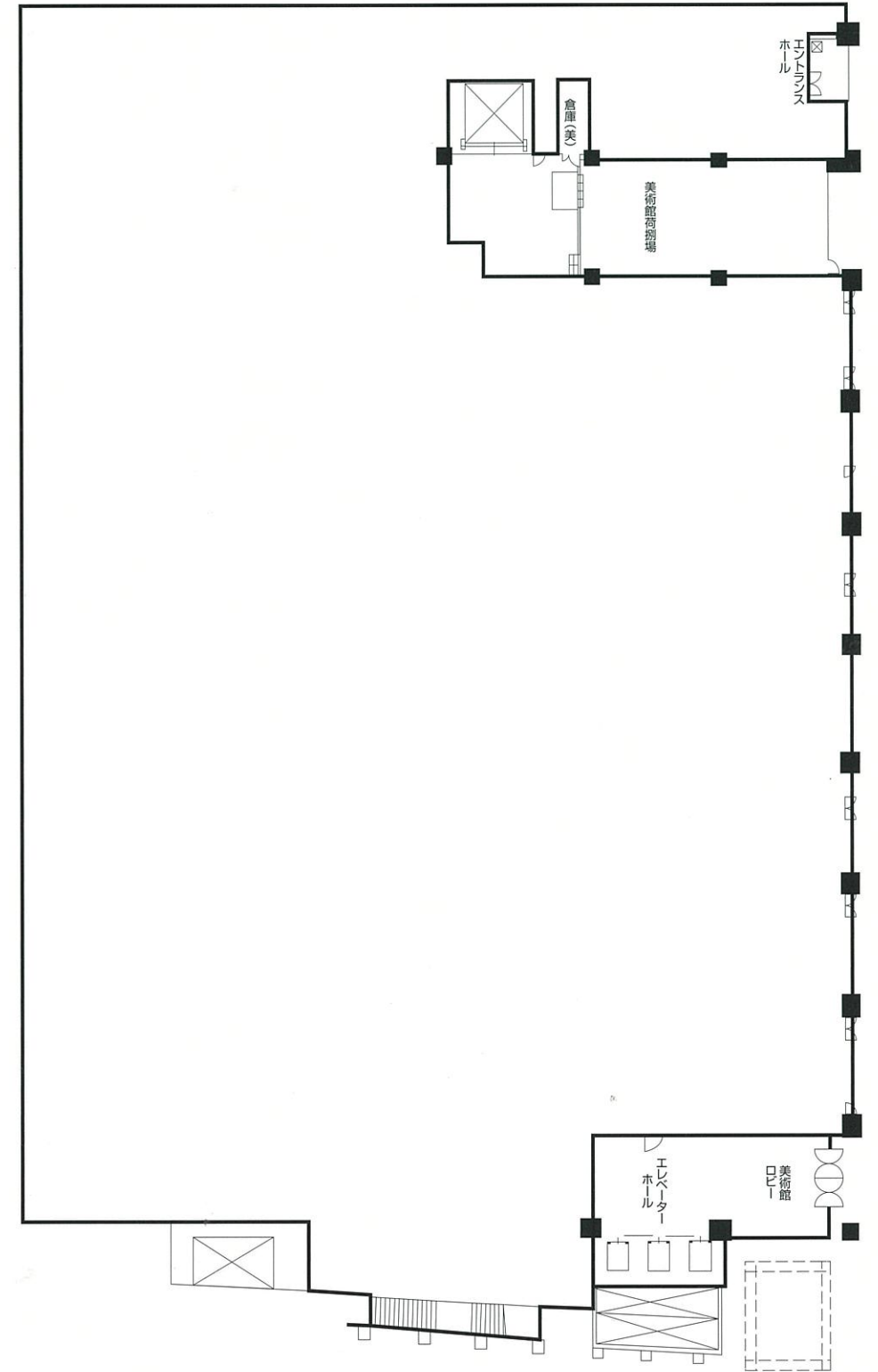
設置者 福岡市長  
 設立年月日 平成11年(1999)3月6日  
 名称 福岡アジア美術館  
 所在 福岡市博多区下川端町3番1号(博多リ(レイン))  
 面積 建物面積151,932.95のうち区分所有  
 専有面積9,101.05㎡  
 構造 鉄骨鉄筋コンクリート造 地下4階地上  
 13階のうちの1階及び7階,8階  
 設計者 日建設計・観光企画設計社・都市未来ふ  
 くおか・西日本技術開発・設計共同企業体  
 取得額 保留床取得価額12,552,002千円

[各室面積表一覧] (単位:㎡)

|             |                |
|-------------|----------------|
| 地下1階        | 61.69          |
| 1,2,3号EVピット | 31.19          |
| 13号EVピット    | 30.50          |
| <b>1階</b>   | <b>398.34</b>  |
| 1,2,3号EV    | 47.47          |
| 13号EV       | 36.60          |
| 美術館ロビー      | 52.01          |
| EVホール       | 50.97          |
| 美術館荷捌場      | 66.53          |
| 倉庫          | 11.24          |
| 搬入車路        | 133.52         |
| <b>7階</b>   | <b>4233.33</b> |
| 企画ギャラリー     | 1004.58        |
| 物入(1)       | 8.77           |
| 控室          | 23.01          |
| ロビー(2)      | 61.69          |
| 機械室(3)      | 131.18         |
| チャンバー(機3)   | 28.43          |
| EVホール       | 47.36          |
| 階段          | 19.43          |
| 荷捌室         | 110.95         |
| 通路          | 335.79         |
| 便所前室        | 12.05          |
| 便所(客・男)     | 22.40          |
| 便所(客・女)     | 31.84          |
| 便所(客・車)     | 5.84           |
| ロビー(2)      | 214.10         |
| 展示機材庫       | 56.55          |
| チャンバー       | 23.38          |
| 裏通路         | 37.40          |
| M7F機械室      | 59.40          |
| 機械室(2)      | 92.33          |
| アジアギャラリー    | 793.87         |
| 展示ケース室      | 316.69         |
| ミュージアムショップ  | 77.60          |
| 商品倉庫        | 20.38          |
| 美術情報コーナー    | 125.52         |
| 彫刻ラウンジ      | 516.24         |
| コーヒースタンド    | 14.39          |
| 中7階ホール      | 42.16          |
| <b>8階</b>   | <b>4407.69</b> |
| 1,2,3号EV機械室 | 56.11          |
| 格納庫(1)      | 171.00         |
| 収蔵庫(1)      | 152.02         |
| 準備室         | 87.60          |
| 交流スタジオ      | 223.30         |
| 暗室(1)       | 9.90           |

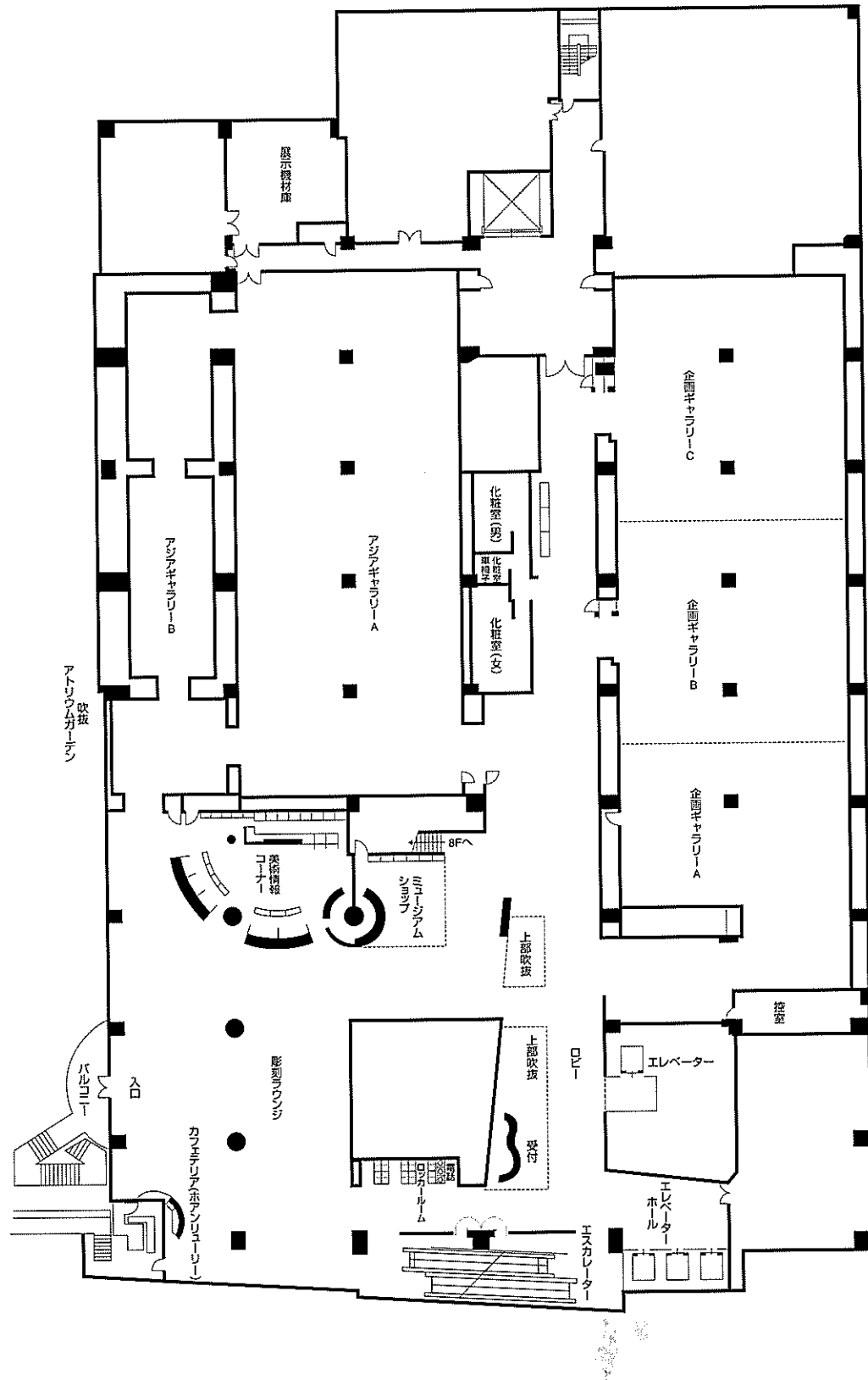
|           |                |        |
|-----------|----------------|--------|
| 8階        | 倉庫(1)          | 23.70  |
|           | 交流ギャラリー        | 369.54 |
|           | 倉庫             | 19.11  |
|           | 機械室(1)         | 128.96 |
|           | 前室(機1)         | 26.13  |
|           | 階段             | 14.82  |
|           | 格納庫(2)         | 17.94  |
|           | 撮影室            | 87.30  |
|           | 暗室(2)          | 6.50   |
|           | 便所(男・女)        | 7.02   |
|           | 荷捌室            | 167.84 |
|           | 警備室            | 14.85  |
|           | 倉庫(2)          | 30.80  |
|           | あじびホール         | 159.53 |
|           | 前室(あじび)        | 7.35   |
|           | 前室(あじび)        | 5.39   |
|           | 調整映写室          | 23.50  |
|           | ロビー            | 360.43 |
|           | 収蔵庫(2)         | 252.27 |
|           | 前室(収蔵2)        | 11.10  |
|           | 機械室(4)         | 25.32  |
|           | 映像資料室          | 35.20  |
|           | AVステーション室      | 52.49  |
|           | 資料カード室         | 40.45  |
|           | 学芸図書室          | 119.84 |
|           | 図書閲覧室          | 44.14  |
|           | 階段室            | 13.42  |
|           | 便所(客・男)        | 18.44  |
|           | 便所(客・女)        | 23.74  |
|           | 便所(客・車)        | 6.77   |
|           | 医務室            | 6.73   |
|           | 授乳室            | 14.74  |
|           | 便所(職・男)        | 17.54  |
|           | 便所(職・女)        | 16.41  |
|           | 女子ロッカー         | 14.24  |
|           | 男子ロッカー         | 11.44  |
|           | 給湯室            | 6.85   |
|           | 物品倉庫           | 32.00  |
|           | 印刷室            | 13.87  |
|           | 監視員控室          | 30.88  |
|           | ボランティア室        | 45.95  |
|           | ミーティングルーム      | 41.02  |
|           | 機械室(2)         | 22.87  |
|           | 機械室(3)         | 144.90 |
|           | チャンバー(機3)      | 20.21  |
|           | 倉庫(3)          | 22.20  |
|           | 招待者用研究室(1)     | 32.76  |
|           | 招待者用研究室(2)     | 32.79  |
|           | 招待者用研究室(3)     | 32.79  |
|           | 倉庫(4)          | 9.88   |
|           | 会議室            | 122.63 |
|           | 学芸研究室          | 81.75  |
|           | 学芸・管理課         | 245.27 |
|           | 館長室            | 41.48  |
|           | 前室(館長)         | 8.53   |
|           | 応接室(1)         | 30.33  |
|           | 応接室(2)         | 35.92  |
|           | 休憩室            | 21.59  |
|           | 脱衣室            | 7.70   |
|           | シャワー室          | 2.00   |
|           | 通路             | 135.81 |
|           | 廊下             | 290.79 |
| <b>合計</b> | <b>9101.05</b> |        |

1F

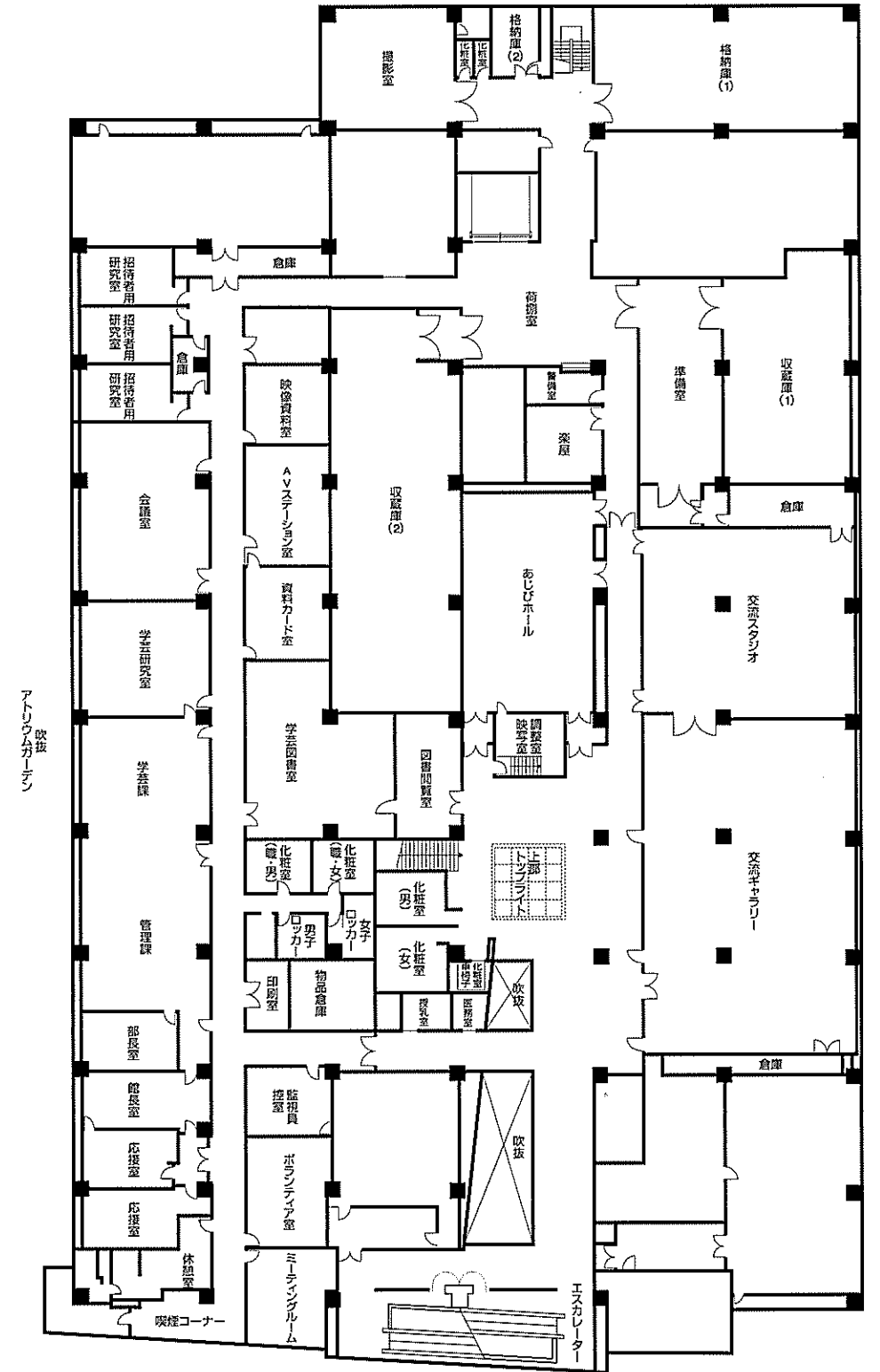


施設概要

7F



8F



## 沿革

- 平成 4年(1992) 6月 市長がアジア近代美術館の建設意向を表明
- 平成 5年(1993) 7月 アジア美術館整備構想委員会の設置、開催(答申までに2回開催)
- 平成 7年(1995) 2月 アジア美術館整備構想委員会の答申  
市長が下川端市街地再開発ビルでの設置を表明
- 平成 7年(1995) 3月 第1回アジア美術館建設専門委員会開催(開館までに7回開催)
- 平成 7年(1995) 4月 平成7年度当初予算に調査費を計上、福岡市美術館内に建設担当課の設置(1課2係4人)
- 平成 7年(1995)11月 基本方針決定
- 平成 7年(1995)12月 下川端地区市街地再開発組合と保留床売買に関する覚書を締結
- 平成 7年(1995)12月 美術館用建物取得。一般会計補正予算、福岡市議会で原案可決
- 平成 8年(1996) 1月 下川端地区市街地再開発ビル起工
- 平成 8年(1996) 2月 第1回アジア美術館市民懇談会開催(開館までに5回開催)
- 平成 8年(1996) 3月 下川端地区市街地再開発組合と保留床売買契約書を締結
- 平成 8年(1996) 4月 建設担当課の増員(1課2係5人、参与及び担当部長の兼務発令)
- 平成 8年(1996) 8月 第1回アジア美術館資料収集審査会開催(開館までに4回開催)
- 平成 9年(1997) 3月 土地共有持分移転登記
- 平成 9年(1997) 4月 建設担当課の設置(2課3係8人)
- 平成 9年(1997) 7月 開館記念展「第1回福岡トリエンナーレ」(正式名称:第1回福岡アジア美術トリエンナーレ1999【第5回アジア美術展】)実行委員会設立総会
- 平成10年(1998) 2月 正式館名を公募。「福岡アジア美術館」に決定  
(応募件数4,079点【2,775人】)
- 平成10年(1998) 2月 開館記念展の国際協力者会議開催
- 平成10年(1998) 9月 福岡アジア美術館条例制定
- 平成10年(1998)10月 建設工事完了 竣工検査
- 平成10年(1998)12月 建築物引渡し
- 平成11年(1999) 1月 福岡アジア美術館へ組織変更  
(館長以下2課3係12人【嘱託5人】体制)、美術館へ事務所移転
- 平成11年(1999) 2月 建築物登記
- 平成11年(1999) 3月1日 博多リバレイン竣工式
- 平成11年(1999) 3月3日 福岡アジア美術館開館記念式典
- 平成11年(1999) 3月6日 福岡アジア美術館開館、博多リバレイン開業  
~6月6日 開館記念展「第1回福岡トリエンナーレ」開催
- 平成11年(1999) 5月 収蔵品を福岡市美術館から移転
- 平成11年(1999) 6月 収蔵品展示の開始
- 平成14年(2002) 3月21日 「第2回福岡トリエンナーレ」開催(6月23日まで)



交流招聘作家 ディアントパフォーマンス

## 名簿

### 福岡アジア美術館企画運営会議委員

富山 秀男 プリチストン美術館館長  
陰里 鐵郎 女子美術大学大学院美術研究科教授  
中村 英樹 名古屋造形芸術大学教授  
野口 郁子 福岡市女性センターアミカス館長  
藤原 恵洋 九州芸術工科大学助教授

### 福岡アジア美術館美術資料収集審査会委員

乾 由明 金沢美術工芸大学学長  
中村 英樹 名古屋造形芸術大学教授  
後藤 新治 西南学院大学教授  
ソノボーン・ロドボーン チェンマイ大学美術学部助教授(タイ)

### 福岡市美術館協議会(福岡アジア美術館を含む)

会長 菊竹 淳一 九州大学文学部教授  
副会長 吉岡 紋 作家  
委員 足達 千鶴子 福岡市地域婦人会常任理事  
// 石橋 美恵子 福岡市社会教育委員  
// 出田 紘子 多々良中学校長  
// 大西 修也 九州芸術工科大学教授  
// 木戸 龍一 福岡県美術協会理事長  
// 古賀 哲躬 福岡女子高等学校長  
// 小林 俊子 福岡市青少年団体連絡会議理事  
// 豊田 晃一 福岡市老人クラブ連合会副会長  
// 中西 久吉 福岡市美術展運営委員  
// 濱砂 圭子 育児情報紙編集長  
// 古川 智次 福岡大学教授  
// 松尾 浩二 志賀島小学校長  
// 松尾 孝司 西日本新聞社文化部長

### 第2回福岡トリエンナーレ実行委員会

特別顧問 山崎 広太郎 福岡市長  
// 青木 秀 (株)西日本新聞社取締役相談役  
会長 安永 幸一 福岡アジア美術館館長  
副会長 豊田 泰之 (株)西日本新聞社事業局長  
副会長 秋葉 幹夫 NHK福岡放送局視聴者センター広報事業部長  
委員 霧田 徹 (財)福岡市文化芸術振興財団事務局長  
// 野口 郁子 福岡市女性センター館長  
// 木戸 龍一 (社)福岡県美術協会理事長  
// 後藤 新治 西南学院大学文学部教授  
// 原 陽一 博多リハレイン管理(株)業務部長  
// 落石 みどり 奈良屋まちづくり協議会運営委員長  
// 堀 武志 大浜まちづくり協議会運営委員長  
// 田原 喜一 御供所まちづくり協議会会長  
// 山本 謹也 冷泉まちづくり検討委員会会長  
// 正木 計太郎 上川端商店街振興組合理事長  
// 吉川 礼蔵 川端中央商店街振興組合理事長  
// 菊竹 淳一 福岡市美術館協議会会長  
// 木屋 朝光 (株)西日本新聞社事務局文化スポーツ事業部長  
// 篠崎 峰明 NHK福岡放送局視聴者センター事業担当部長  
// 小林 毅 福岡市美術館事業管理部長  
// 副田 茂生 福岡アジア美術館事業管理部長  
監事 森本 稔 (株)西日本新聞社事務局次長  
// 井上 文博 福岡市教育委員会総務課長

### 第2回福岡トリエンナーレ出品作家選考協議会委員

中村 英樹 名古屋造形芸術大学教授  
北澤 憲昭 跡見学園女子大学教授  
ジム・スバノカット インディペンデント・キュレーター(インドネシア)  
リー・ユリン(李珺) インディペンデント・キュレーター(台湾)  
後藤 新治 西南学院大学教授

### 福岡アジア美術館職員

館長 安永 幸一  
事業管理部長 副田 茂生  
管理課長 梅崎 泰也  
管理係長 栗須 ひろ子  
事務吏員 安河内 宏  
事務吏員 笠 美加  
事務吏員 門島 百合  
嘱託 坂本 幸子  
嘱託 小国 博基  
学芸課長 後小路 雅弘  
収集展示係長 黒田 雷児  
学芸員 ラワンチャイクン寿子  
学芸員 中尾 智路  
交流係長 松浦 仁  
事務吏員 丸田 晶子  
嘱託 蒲池 昌江  
嘱託 高木 のぞみ  
嘱託 山木 裕子

発行 2002年10月10日  
福岡アジア美術館  
福岡市博多区下川端町3-1 博多リバレイン7・8階  
URL: faam.city.fukuoka.jp  
デザイン マツダヒロチカ デザイン事務所  
印刷 隈報社写真印刷株式会社  
著作権 福岡アジア美術館  
2002年(禁無断転載)



この紙は地球環境保護のため、  
再生紙を使用しています。

